



高齢者・障害者のための

お役立ち^{びん}手作りの自助具

自助具とは、運動機能などに障害のある人のために、自力で日常生活動作を行えるように工夫して作られた器具・道具をいいます。

提供 / 社会福祉法人 北九州市福祉事業団 福祉用具プラザ北九州
〒802-8560 福岡県北九州市小倉北区馬借1丁目7-1 総合保健福祉センター1階
TEL. (093) 522-8721 FAX. (093) 522-8771

びん 瓶オープナーを作ろう

丸い瓶でも
楽に開けられる!



持ち手の方向に瓶を回すと角棒とひもで固定され、フタを簡単に開けられます!

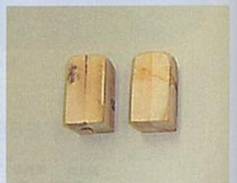
手の力が弱くなって^{びん}瓶を開けられない方や片麻痺の方におすすめです。

作り方

① 板を糸鋸などで楕円形に切り、角をサンドペーパーで丸くします。



② 角棒の上になる面の角をサンドペーパーで丸くします。



③ ベルトの端を②の側面にそれぞれボンドとホチキスで固定します。(ベルトがねじれないように注意します)



④ ③のベルトを固定した部分が重なるように並べ、写真のように置きます。表、裏面両方に角棒の取り付け位置がわかるよう印をつけます。



⑤ ④の裏から木ネジで角棒を固定します。

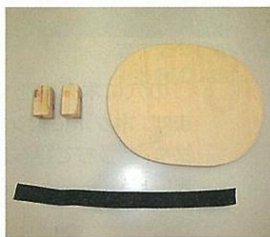


⑥ 板の裏に滑り止めシートを貼ります。



材料

- 板 (25×20×1.2cm) 1枚
- 木の角棒 (3.5cm角×4.5cm) 2本
- 布ベルト (幅3cm×長さ35cm) .. 1本
(伸縮しない・滑りにくいもの)
- 木ネジ (M3×3cm) 2個
- 滑り止めシート (板と同じ大きさ) 1枚
- 木工用ボンド 適量



使い方

ベルトにピンを挟み、角棒に引っかけるようにしてふたを開けます。

- 板の形は、ピンを動かしたときにはみ出さない大きさであればどんな形でもOKです。
- ベルトはホチキスがなければ木ネジで固定してもよいでしょう。
- ふたを持つ手が滑るときは、ふたの上に滑り止めシートを乗せて回すと、より軽い力で開けることができます。

※このコーナーの自助具は全国の先輩方のアイデアを福祉用具プラザ北九州で作製・改良したものを掲載しています。